



東京都小学校道徳教育研究会

令和8年4月13日

都小道研だより 第1号

～ 研究は厳しく、人間関係は温かく ～ 会長 星野典靖

1 令和8年度 都小道研役員・理事について

会長 星野 典靖 (昭島・田中小)	副会長 宮本 知司 (江戸川・上小岩小)
副会長 椿田 克之 (練馬・石神井小)	副会長 山岸 史子 (練馬・泉新小)
会計 鈴木 裕子 (八王子・由木東小)	総務部長 由良 隆 (墨田・二葉小)
庶務部長 平野 真由美 (渋谷・加計塚小)	渉外部長 熊木 崇 (練馬・小竹小)
広報部長 藤山 由仁 (中央・月島第一小)	調査部長 松井 良 (青梅・友田小)
研究部長 関 祐一 (練馬・豊溪小)	研修部長 土生津 静 (足立・花保小)
実践部長 三品 孝之 (国立・国立第五小)	
顧問理事 松井 敏 (中野区教育センター)	顧問理事 吉田 友信 (江戸川・南小岩小)

2 令和8年度の運営にあたって

本会の目的は会則(第2章第3条)の通り、「道徳教育の推進、並びに会員相互の研さんを図ること」です。本年度も、「研究は厳しく、人間関係は温かく」を合言葉に、文部科学省、全小道研、関小道研、都中道研、顧問・OB 会等の皆様からご指導・ご支援を賜りながら、会員相互の研さんを図り、心を一にして道徳教育・道徳授業の推進・充実を目指して、邁進して参ります。そして、会員の皆様には次のことを心掛けて本会の運営にあたっていただきたいと思ひます。

(1) 持続可能な研究推進のために

Smile(笑い) Dream(夢) Grit(情熱、やりぬく力)

⇒ Satisfaction(満足) + Success(成功)

「SDG⇒S」

(2) 役員や部員相互の連携を強くしなやかにするために

「か・き・と・ほう・れん・そう」

か：確認(正しい情報の把握 進捗・結果等の確認)

き：記録(説明責任を果たすための根拠)

と：当事者意識(仕事への責任感)

&透明性(情報やプロセスのオープン化)

ほう：報告(業務の進捗状況や結果の伝達)

れん：連絡(業務上の事実や決定事項の共有)

そう：相談(業務の問題や課題に対する助言や意見を得るための発信)

「牡蠣とほうれん草のバター炒め」



(3) 円滑な運営と強い組織をつくるために

当たり前のことを、当たり前に行う。そして、当たり前の質を高める。

1年間、都小道研へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【 補足 】

「都小道研だより」マークの図案の意味について

○ 4人の子どもたち

〈色分け〉

赤 Aの視点 ※「私たちの道徳」での色別

橙 Bの視点

青 Cの視点

緑 Dの視点

〈手をつなぐ〉

ABCDの内容項目をバランスよく、相互に関連させながら学ぶ



○虹

赤 Aの視点 夢の実現 多様性 等

橙 Bの視点 架け橋 人と人をつなぐ 等

青 Cの視点 結束 平和 等

緑 Dの視点 美しさ 気高さ 等

○背景の白

白の真っさらな状態は始まりや出発を象徴

純粋無垢な小学生（小学校の学びで色彩を帯びていく）

○イチョウ

東京都の木 東京の子どもたちの心・道徳性を養うという強い意志

○青い半円

晴れ晴れとした心を象徴する青空

○開いた本

児童の心を映す鏡であり、道徳科授業の命である教材を象徴